

さとう重症心身障害児支援センター
事業所職員における児童発達支援自己評価表

令和2年5月実施 回収率 87.5%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		○マット部分とベッド部分を分けている為危険が少ない。分けている柵が不安定、足りない部分がある為危険がある ○遊びのスペースを十分確保している
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2	○保育士を増員すれば職員の負担軽減になりより良い支援が出来るのではないかと ○児童指導員が午前で帰ってしまってから看護師がそのフォローに入るが利用人数が多い日は目が行き届かない時もある ○長期休みや平日夕方の職員数が不足することがあるので連携を図る必要あり ○保育士の数が足りない
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	○マット部分、ベッド部分を柵で分けている ○マット等で転倒に配慮している。ベビーベッドを使用し他利用者(児)と分けられるような配慮も有る
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	○毎日朝、夕で掃除を行い清潔を保っている ○概ね良いが今後スヌーズレンなどの暗い個別スペースが出来ると児童の精神的安定に効果が有ると考える。換気にはもっと気配り必要 ○床に物を置かず清掃し易くしている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2	○週1回業務に関わる職員で会議を行い、情報の共有をしている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2	○サービス管理責任者が保護者等の意向を確認し、週1回の会議等で情報を共有している ○今回は初回なのでそれを元に改善につなげる ○家族・本人の意向の聴取が不十分 ○調査実績無し(今後アンケート結果を元に改善)
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	5	○事業所で行っている活動等の写真を会報に公開はしているが評価、改善の内容等は公開していない ○これから予定している ○初回の為
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	6	○未実施 ○初年度実績を今年度中に外部評価実施することが望ましいと考える。助言などを改善につなげる
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2	○年に2回事業所内での研修を行っている ○定期的に法人内研修を行っている
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	2	○保護者と送迎等の際に話をし、事業所で行っていること、自宅で行っていることを照らし合わせ支援を行っている ○不十分(計画の作成はしている)

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	3	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	1	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	○週1回の会議で行っている ○週1回ミーティングの実施
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		○季節等で活動を工夫している ○季節感を大切にしている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	3	
	17	支援終了前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	○保育士、児童指導員間で行っている事が多く、今後は配置された看護師も役割分担等確認する必要がある
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	○必ず行う時間を設けているわけではないため、今後は時間を設け、振り返りをする時間が必要である
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	○毎日の記録支援内容、看護記録等で記録を行い検証・改善につなげられている ○記録はしているが検証・改善は不十分
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	○毎月3ヶ月に1回相談員とモニタリングを行っている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	2	○保育士が関係機関へ行き、連携を行情報の共有をしている ○守谷市こども療育センターと連携し支援の内容を決めている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7		○医療機関とは主に書類等で連携を行情報の共有をしている ○主治医との連携 ○守谷市こども療育センターと連携し支援の内容を決めている ○必要な時には主治医より意見書ももらっている

携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7		○医療機関とは主に書類等で連携を行い、必要であれば当事業所の医師より連携をとり情報の共有をしている
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	3	○実績無し
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	2	○定期的に保育士が支援学校等へ行き、情報の共有を行っている ○特別支援学校と連携を図っている。同じプログラムを活用するなどしている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	○定期的に保育士が専門機関へ行き、情報の共有をしている ○守谷市こども療育センターにて助言等を受けている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	6	○医療的な問題や保護者の意見をまとめるなどの問題をクリアにする必要がある
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		6	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		○送迎時に発達の状況等保護者で話し情報共有をしている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	5	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1	○契約時に必ず説明している、丁寧な説明を心掛けている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	2	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	3	○送迎時に話をする事、サービス管理責任者が定期的に話し、支援等共有をしている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2	○現在クリスマス会のみ行い保護者同士の連携を行っている ○クリスマス会を行い保護者の交流を図っている

	36	子どもや保護者から相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		○申入れ等あった場合すぐに責任者へ報告し関係する職員等で話し合いを行い対応している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	○毎月会報に写真等を合わせ発信している。行事等はその都度発信している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		○個人情報等はカギのかかる棚へ保管している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		○利用児との意思疎通は表情等で行うことが多い
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	3	○防災訓練等を行っているが、防犯、感染症等に関しては行っていない
	42	非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2	○定期的に防災訓練を行っている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7		○契約時保護者より服薬、発作等聞き取りを行っている ○保護者とのオリエンテーション時に情報を共有している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3	○申し送りノートを活用しているがヒヤリハット問題について別に作成をする
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	○年2回事業所内で研修を行っている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	2	○事業所責任者、看護師、保護者と話し合いを行っている ○現在のところ児童に身体拘束対象は無し

令和2年児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表等の実施結果【令和2年5月実施】

平成27年4月に厚生労働省より、放課後等デイサービスの支援の質の向上を図るため、「放課後等デイサービスガイドライン」が定められました。今回そのガイドラインに基づく評価を実施し、「令和2年放課後等デイサービス自己評価結果」(保護者向け・事業所向け)がまとまりましたので、ここに公表します。アンケートにご協力いただきました保護者の皆様の貴重なご意見やご要望をたくさんいただきありがとうございました。これらを参考とし、今後の支援に生かしていきたいと思っております。